

河内の散策(72)

松根油工場跡

戦後70年の年であり、河内村の戦時中の出来事的一端を紹介します。

太平洋戦争中の昭和18年頃から、敗戦が続く石油の内地への輸送が途絶え不足して来たので、代用燃料として松の根から「松根油」をとり、精製して戦闘機の燃料に使うことになりました。

軍によって、昭和19年頃に松根油製造工場が下城門前橋近くに建設されました。松根油の作り方は、松の根株を小さく切り大釜に入れ、昼夜燃し続けて乾溜すると切り口からタールが滲み出ます。このタールは釜底に溜まり、ドロドロの黒い原油タールになります。河内では原油の精製はされていませんでした。

松林のある所、戦闘機燃料の大油田といって、河内は最適地であり、松の根堀り作業に婦人・年寄り・学徒が動員され、腹をすかしながら手に血豆を作り、汗まみれになって一生懸命作業奉仕をしました。

また、大きな松の立ち木に、ノコやナタでV字型のキズをつけて「松脂採り」の作業に動員され、これも原油にされていました。

文責 杉田精司

こうちつ子体験スクール報告 河内の史跡を訪ねて

今年で11回目となる「こうちつ子体験スクール」が、河内小学校の4年生から6年生の児童20名が参加し、7月9日より2泊3日の日程で開催されました。

河内公民館を生活の拠点とした共同生活の中で、個々の役割に積極的に取り組み、全員が協力して物事をやり遂げ、地域住民の方とふれあう中で、地域のことを学び、ふるさと河内を愛する心を育むことを目的としています。

一日目の夜は、和紙作りにチャレンジしました。和紙の原料となる楮こうぞの話を聞いた後に、各班に分かれて、実際に和紙を漉いて作りました。

二日目の夜は、三作目となる「日吉神社のおぎおんさん」の紙芝居を



3日目の史跡巡りの中で、神楽の衣装を着せてもらい、盛り上がる子どもたち

見た後に、今回の体験学習で訪ねる「下城・下河内・小深川の史跡」のコース説明を受けました。そして、前日に作った和紙に、子どもたちが家族あての手紙を書きました。

三日目は、早朝に、河内公民館をスタートして、歩いて、下城・下河内・小深川の順番で史跡を訪ね、ISCリサイクルセンターの工場見学の後、ゴールの下河内集会所を目指しました。今年は、史跡を訪ねた三町内会の町内会長をはじめとして、多くの地域住民の方が一緒に歩いて、史跡の説明を子どもたちにわかりやすく説明していただきました。天気が良く、気温も高い中でしたが、子どもも大人も無事にゴールにたどり着くことができました。昼食は、今までの「おにぎらず」を作って食べました。

三日間を通して、食材の買出し・料理作り・和紙作り・そして史跡巡りなどに一生懸命取り組む子どもたちの姿に、大きな感動を受けました。これからも、子どもたちが、河内のことをたくさん知って、もともと好きになつてくれることを願っています。

実行委員長 藤井利宏

*「おにぎらず」とは、ラップの上に海苔を乗せて、真ん中にご飯を平たく乗せ、さらに具材をのせて、海苔の四隅を折って四角にするもの。



私の思い

今、僕に出来ること

今年度より、河内小学校PTA会長をさせていただいています。小3の長女、小2の次女、5歳の長男の3児の父親です。

まだ右も左も分からない若僧ですが、幼少期から河内に住み、地域のみなさまに大変お世話になっているので、少しでも地域に貢献出来るように頑張っていきたいと思います。

今、僕に出来る地域貢献は「みなさまの声を聞く」ということです。分かりにくい場所ですが、中郷で美容院を営んでいて、下は1歳から上は88歳と、老若男女の幅広い層のお客様がご来店くださっています。

ご来店時の会話の中で「こんなのがあったらいいなあ」など河内がより魅力的な町、住みやすい町にするヒントをお聞かせ頂き、河内を盛り上げられたらいいなあと思っております。

それから、本業の美容の方でもみなさまのお力になりたいと思っておりま

す。髪にお悩みの方、なんでもお気軽にご相談ください!!

色々お役に立てるように頑張りたいと思いますので、今後とも宜しくお願いします。

河内小学校PTA会長 山口雅史